

2

ROUND

MAY 2010

平成22年5月25日発行
第1巻4号

RACING PRESS

2010 SUPER TAIKYU ROUND2
SUGO 400KM RACE



2010 SUPER TAIKYU SERIES Round 2 SUGO



**2010 SUPER TAIKYU ROUND 2
SUGO 400KM RACE
5/8-9**



ST-2クラスはRSオガワADVANランサーが久々の勝利。



ST-4クラスはホンダ車争いでコスモニック21 FK Ingsが2連勝。

スーパー耐久シリーズ 2010 第2戦

主催: 株式会社 菅生 / 菅生スポーツクラブ (S.S.C) / 奥州ビクトリーサークルクラブ (奥州VICIC)

特別協賛: 株式会社 ヤマウチ

後援: 社団法人 宮城県観光連盟 / 村田町

■ 公認: 社団法人 日本自動車連盟 (JAF)

タイヤハウス BEST

スーパー耐久 400kmレース

2010 Anniversary 20th タイヤハウス BEST

2010 Anniversary 20th タイヤハウス BEST

2010 Anniversary 20th タイヤハウス BEST

2010 Anniversary 20th タイヤハウス BEST

RACING PRESS

2010.5.20 発行

PHOTO Y.Tetsutani (JRPA)
T.Kato (JRPA)
Y.Nakamura (TPJ)

DESIGN S.Tominaga

制作・発行 株式会社 写真事務所

YAMAHA

BMW Z4 1・2フィニッシュ!

蔵王連山に残雪があり、山桜が咲きまだまだ肌寒い東北地方。スーパー耐久レースは今年で20年を迎えた。今年からST-5クラスが加わり5クラスに区分される。排気量はもちろん駆動系の違いによっても分けられている。出場マシンも種類が多く、BMW、ボルシェ、RX-7、ランサーエプリーション、インプレッサ、NSX、フェアレディZ、シビック、インテグラ、S2000等、国内外のマシンが顔を並べている。予選方式もS耐久独特の方式でAドライバーとBドライバーの二人のラップタイムを合算して、スターティンググリッドが決まる。



最高高低差が70メートルもある菅生はエンジンの負担も多く、400キロの長丁場にはドライバーはもちろんマシンにとっても大きなマージンを背負って走ることになる。GT300でも好調の各口選手はポールから飛び出し、予想通りの1・2フィニッシュ体制で走行。中盤28号車は1号車に迫ったが、結果的には黒旗が出され大きく後退。ラルバ、ボルシェGT3もスピン等で後退し3番手。結局Z4がもてぎに続いて1・2でフィニッシュで優勝飾った。

総合結果

- 1位 PETRONAS SYNTIUM BMW Z4M 谷口信輝/柳田真孝/イムラン・シャハロム 108周
- 2位 PETRONAS SYNTIUM BMWZ4M 片岡龍也/ファリーク・ハイルマン 108周
- 3位 ART TEIST GT3 周清水康弘/竹内浩典/立川祐路 107周

ST-1

ST-3 独走NSXにマシントラブル!



ST-3 決勝結果

1位	asset・テクノZ34	藤井誠暢/佐藤公哉/景山正美	104周
2位	asset・テクノファーストZ	GAMISAN/浜野彰彦/中村嘉宏	104週
3位	岡部自動車JDSメーカーズRX-7	碓井久彦/白井 剛/加藤正将	103周
リタイア	TAITEC TRACY NSX	川口正敬/植田正幸/佐々木孝太	87週

S耐久レースの中で最も激しいレースが展開されるのはST-3クラスだ。もてぎのウィナー川口選手組のホンダNSXに再度チャレンジするのは、BMW M3をドライブする伊橋選手組。レースはポールを獲得した伊橋選手組がトップでレースを引っ張る。すぐ後ろにスタートドライバーの佐々木孝太選手がNSXで追う。しかし、15週目の第3コーナーでBMWが痛恨のコースアウト。ブラベルを脱出に7ラップを消耗した。この事故でNSXはトップに浮上し周回を重ねる。予定通りのピットインで川口選手に引き継がれた。ほぼ独走体制に入った時、コース上に火災が発生。すぐにセーフティカーが導入され同時に川口選手もピットインで植田選手に全てを委ねた。しかし、NSXに女神は微笑まなかった。NSXは2位に大差をつけ、優勝を目前にして駆動系にトラブルが発生。2連勝を目前にしながら植田選手はコックピットを降りた。相次ぐトラブルの中、影山正美選手は安定した確実な走行を見せラッキーな1勝を今年のデビューレースで飾った。ポイントランキングでは2戦を終了して、伊橋勲組 (BMW M3) 25ポイントと川口正敬選手組 (NSX) が同ポイントで並んだ。

第3コーナーグラベルにコースアウト。

ベースカー購入で植田選手にバトン。



第2戦をデビュー勝利で飾る。